公開日　2026年4月1日

薬学研究科 薬学専攻

人材育成に関する目的	薬学専攻は、薬学に携わる研究者あるいは薬剤師として求められる学識と研究法を習得し、臨床薬学分野や公衆衛生等において活躍することのできる幅広い高度な専門的知識と実践能力、臨床・公衆衛生における研究課題を自ら形成し解決する能力及びそれらを教育指導できる能力を有する人材を育成する。

カリキュラム・ポリシー

1. 博士課程においては、修業年限6年の学士課程で養った教養、基礎学力、専門知識を基礎として、さらに「専門科目」「一般教養科目」「研究指導」を通じて、高度化する医療に適正に対応するための専門的知識に基づいた実践力に加えて、それらを教育指導できる能力をもった人材の養成を目的とした教育課程を編成する。
(1)「専門科目」では、より高度な専門的知識の修得を目的として、特論、実験、演習等の授業科目を重点的・効果的に配置する。
(2)「一般教養科目」では、幅広くかつ深い学識を涵養することを目的とした授業科目として、コミュニケーション能力・倫理観・国際性等を身に付けるための授業科目を配置する。
(3) 研究指導の過程では、国内外の文献の調査、指導教員等研究者との議論、国内外の学会等での発表、学術論文の発表等を行うことを通じて、自身の研究成果を正確かつ効果的に表現する能力を身に付けるとともに、専門性の高い研究を遂行することを通じて、課題を解決する能力を高め、臨床・公衆衛生における 研究者またはそれに準ずる高度職業人として国内外で国際的な視野をもって活躍できる指導者を育成するための教育を行う。
(4) 他研究科・他専攻の授業科目の履修を可能とし、学際的な分野の学習や異分野交流の機会を提供することにより、多様な学習ニーズに応えうる教育課程とする。

分野	科目区分	科目群で身に付ける能力		博士課程							
				1年次(前期)	1年次(後期)	2年次(前期)	2年次(後期)	3年次(前期)	3年次(後期)	4年次(前期)	4年次(後期)
創薬科学 生命薬学 医療薬学 全分野 共通	基盤特論科目	医療薬学の基盤をなす領域である「トランスレーショナルリサーチ」、「レギュラトリーサイエンス」、「薬剤疫学」、「医療経済」等に関する知識を修得することを目的とした講義形式の科目であり、医療薬学関連領域において研究を展開する上で考え方の基盤を身に付ける。		医療薬学特論1							
				医療薬学特論2							
	専門特論科目	医療薬学関連領域に関する研究動向を把握することを目的とした講義形式の科目であり、薬学部6年制課程において学習した内容を博士課程に相応しい研究内容に発展させる道筋を明らかにするための能力を身に付ける。		有機化学特論							
				物理化学特論							
				生物化学特論							
				薬物治療学特論							
				衛生薬学特論							
				天然物薬品学特論							
				レギュラトリーサイエンス特論							
				クリニカルリサーチ特論							
				医療データサイエンス特論							
				リカレント教育特論1							
				リカレント教育特論2							
	一般教養科目	高い倫理性や世界の多様な文化・歴史に対する理解力や、語学力を含めたコミュニケーション能力に加えて、他専攻における最近の研究動向を含めた幅広い教養を身につける。	一般教養科目 教養（共通）	医療倫理							
				知的財産特論							
				Discussion and Presentation 1							
				現代物理学特論							
				その他の教養（共通）科目							
			一般教養科目 教養（他分野）	先端薬科学特論1							
				先端薬科学特論2							
				先端薬科学特論3							
				ゲノムインフォマティクス特論							
	演習科目	医療薬学関連領域に関する研究内容の発表および討論を通じて、国際的な研究者として活躍するために必要なコミュニケーション能力およびプレゼンテーション能力を身に付ける。	発表演習科目	薬学研究発表演習1		薬学研究発表演習2		薬学研究発表演習3			
		医療薬学関連領域に関する最新の研究例に関する徹底的な調査を行い、最新の研究技法を修得するとともに、広い視野を持った柔軟な発想力を身につける。	技法演習科目	薬学研究技法演習A	薬学研究技法演習B						
		医療薬学関連領域に関する研究内容を論文の形式で公表するために、論文中で主張すべき内容を適切に選択し、それらを英語で論理的に記述するための能力を身につける。	論文演習科目			薬学研究論文演習A	薬学研究論文演習B				
	研究科目	医療薬学関連領域に関する研究課題に対して、最新の研究技法を活用してその解決方法を探るとともに、幅広い視野から実践的に問題を解決するための能力を身につける。	研究科目	薬学博士研究1A	薬学博士研究1B	薬学博士研究2A	薬学博士研究2B	薬学博士研究3A	薬学博士研究3B	薬学博士研究4A	薬学博士研究4B
	修了所要単位に含まない科目	今後拡大が見込まれるジョブ型採用を見据え、産業界と大学が連携した大学院教育を行うことで、国際競争に耐え得る研究力に裏打ちされた実践力を身につける。		ジョブ型研究インターンシップ							

必修科目　選択必修科目　選択科目

ディプロマ・ポリシー

1. 博士課程においては、創造性豊かな優れた研究能力をもち、研究・教育・医療 ・行政 機関の中核を担う研究者あるいは指導的 薬剤師 の養成を目標とし、所定の期間在学し、以下の知識・能力を身に付け、本専攻が定める所定の単位を修得し、博士の学位論文の審査、試験、学力確認のための試問に合格した学生に対して修了を認定し、博士（薬学）の学位を授与する。
(1) 薬学専攻の専門分野に応じた研究者またはそれに準ずる高度職業人としての高度な専門知識と倫理観。
(2) 薬学専攻の専門分野に応じた 研究者またはそれに準ずる高度職業人として自立して研究活動を行う能力。
(3) 薬学専攻において修得した極めて高度な専門知識や研究能力をもとに、柔軟な思考と深い洞察に基づいて、自ら課題を発見・設定し、独創的な発想に基づいてこれを解決する能力。
(4) 薬学専攻において修得した極めて高度な専門知識や研究能力をもとに、専門性を要する分野において、国際的な視野をもって活躍できる能力。